



会長 熊谷敏明  
 幹事 菅原慶一  
 会報 氏家良典 江川元徳  
 佐藤幸一 飯塚仁哉  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2580回例会 2017. 1. 19 No.24

### 本日の出席率

・本日の出席率 84.5%

### ニコニコボックス

- ・熊谷敏明会長 佐藤充彦会員のスピーチに期待して。
- ・菅原慶一幹事 佐藤充彦会員のスピーチに期待して。
- ・佐藤充彦会員 本日はスピーチの担当です。よろしくお祈り致します。
- ・鈴木彦太会員 布施孝之会員の御令室様のご逝去を悼み、お悔み申し上げます。佐藤充彦会員のスピーチご期待申し上げます。
- ・菅野幸一郎会員 佐藤充彦会員のスピーチにご期待致します。
- ・高橋義文会員 布施孝之P・Pの令夫人のご逝去に接し、ご冥福を心より祈ります。本日の佐藤充彦会員のスピーチを楽しみに期待致します。
- ・佐々木崇会員以下 佐藤充彦会員のスピーチに期待。  
 猪股有夫会員 佐々木源悦会員 高橋利光会員  
 山田正会員 小野寺伸浩会員 及川昭宏会員  
 太田陽平会員 佐藤早智子会員 千葉正宏会員  
 加藤亮会員  
 以上、ありがとうございました。

### 会長要件 熊谷敏明会長

先日、布施孝之会員の奥様、また布施孝尚会員（市長）のお母様でもある純子様がお亡くなりになり、現在お葬儀の最中でありませす。改めてご冥福をお祈りいたします。

多くの会員が、仕事の関係者と言うことで、出席状況の悪化が懸念されましたが、過去の前例に基づき予定通り例会を開催させていただきました。

さて、先週はゲストスピーカーに日本遺伝子治療医学研究会の鈴木俊之さんをお迎えし、遺伝子によるがん治療についてご講話をいただきました。また次の日

は、宮城県法人会連合会の創立60周年記念講演で、東大病院放射線科の中川先生の放射線によるがん治療の講演を拝聴いたしました。

お話の中で共通していたことは、男性の3人に2人はがんになるということ。しかし、初期がんでは95%が治る、末期がんを入れたがん全体でも60%以上が治療するということでした。また、がんは普段の生活により予防することが出来るそうです。予防と定期検診による早期発見が大事だということでした。私も早速、線虫を用いた検査に申し込もうかと思っています。

話は変わりますが、先日、国際ロータリーのジョン・ジャーム会長からメールが届きました。その中に2016年度規定審議会で、2017年7月から人頭分担金を年4ドル増額する旨の記述がありましたので、ご報告いたします。

本日は、佐藤充彦会員のスピーチです。入会後初めてのスピーチです。出席者が少なく非常に申し訳ありませんが、よろしくお祈り致します。

### 幹事報告 菅原慶一幹事

・特になし

### 各委員会報告

#### ・親睦活動委員会（千葉正宏委員長）

来週は新年移動例会です。現在までの出席者は33名です。出欠の締切りは明日（1/20）です。早目のご連絡をお願い致します。

### 今週のスピーチ

#### 佐藤充彦会員

昨年の6月に入会させていただいて約半年、今回初めてのスピーチです。よろしくお祈り致します。

本日は、自分を知っていただきたく、自己紹介を兼ねたお話をさせていただきますと思います。

私は、1965年（昭和40年）9月1日生まれました。1964年（昭和39年）に前回の東京オリンピックが開催されましたので、次の年に生まれました。オリンピックを見るため白黒テレビの普及率が87.8%になり、これは約3倍という時代でした。

出身地は、迫町佐沼梅ノ木で現在の事務所のある場所です。当時は家の前に仙北鉄道（軽便）という汽車が瀬峰から登米まで走っていました。佐沼には佐沼駅（現在の宮城交通）と川東に東佐沼駅（現在の事務所の前）の二つの駅があり、東佐沼駅の北側に住んでおりました。1968年（昭和43年）3月25日に廃線になり、その後、駅舎が解体される時、解体を請負った業者から父が記念に時刻表をいただき、現在もっており今度事務所に掛けておこうかと思っております。

地元の小・中学校を卒業し、工務店を営んでいた父に「長男だから古川工業高校（建築科）へ行け」と半ば強引に言われて進学致しました。今考えれば私にとっての職業選びのターニングポイントでした。

当時、県北には建築科がある高校はそこしか無かったのも選んだ要因になりました。最初どういう学校かわからず入学致しましたが、通ってみると自分がイメージしていた学校とは違いました。

①に、男子校である事、慣れれば良いこともありますが……。結構楽しいこともありました。

②に、交通の便が悪いため通学時間がかかりすぎることでした。バス、鉄道、徒歩で所要時間2時間。佐沼高校前バス→瀬峰・東北本線→小牛田・陸羽東線→古川駅・徒歩→学校、朝6時にバスに乗り学校に8時に着くという毎日でした。部活をしますと夜に家に着くといった具合でした。

2年生からはバイク通学が許されましたが、古川まで40kmあり毎日通学しておりますと、故障したり、転倒したり、冬になると道路が凍りバイク使用が出来ず電車で行けば雪のため電車が止まったり、乗り換えの時間がずれたりし、遅刻、休みが多くいつもトップクラスでした。

卒業してからの進路については、当時、工業高校では進学より就職が一般的で、私も先輩を頼り東京の建設会社へ就職致しました。現場監督で入社致しましたが、1~2年目までは、先輩と一緒に下回りで、資材選びやら雑用仕事が多く、生コン打ち、施工図書き、段取り等いろいろ経験させていただきました。2年半後から現場監督として、国立駅近くのビルや小平、花小金井、西東京（ひばりヶ丘）など現場を施工致しました。

寮生活でしたので、先輩と一緒に部屋のため逃げられませんでした。お風呂もトイレも共同で自分の時間がなかなか持つことが出来ませんでした。

今でもあの建物はどうなっているのかでグーグルで検索し、当時施工した建物を見る事が出来ます。30年以上たった建物がきちんと残っています。ただマンションの下の部分が店舗に変わったりしているものもありますが、なつかしく思う時がございます。建築に携わる

というのは、やはり形に残りますので自分にとってよかったと思っております。

東京で現場監督の仕事をして3年が過ぎた頃、長男なので帰郷し父と一緒に半年位働きましたが、東京にいた時現場監督にいらっしやる設計士さんに憧れて、資格取得のため勉強したいと地元の設計事務所に勤めました。その時会社でお世話になりましたのが、只野佳旦会員、山田直志会員です。勤めながら勉強して二級建築士の資格を取得し、結婚しました。その時も結婚式に只野佳旦会員、山田直志会員に出席賜わりありがとうございました。

結婚してから共働きで生活しておりましたが、当時、妻の方が給料が多く、これではという思いが自分の中にあり、平成元年に現在の事務所を立ち上げ、25歳の時に資格専門の学校に通い一級建築士、次の年には宅地取引士を取得して現在に至っております。一級建築士取得については、同期では一番早く、一発合格でちょっとした自慢でございました。

一級、二級建築士の仕事の内容は、結構はば広く、新築建物の図面を書いて、その通りに建っているか管理する仕事と、建った物が適切に使われているかという特殊建築の定期報告をする仕事、造成、道路を造って宅地をどの様に割って、道路の位置指定をとったり、建物に付随する塀や看板、地上にある動かない建物、例えば、マラソンの出発点のアーケードのような土地に定着する建物等々は、何かしらの許可を取ったりしなければなりませんので、そういった仕事をしております。

建築設計も28年位になりますが、当初は手書きだった図面も現在はCADになり、CADも最初はプロッターと呼ばれる機械でしたが改良され、現在では完成図、建物をぐるぐる廻して見られますし、構造部材等もモニターで見られますし、構造計算も連動、その他どんどんと新機械が出て来ております。しかし、書類が多くなり仕事が増えました。

昔と比べ建築士の責任も重くなり、3年に一度の講習を受けることが義務づけられ、テストを受けて一定以上の点数をとらないと、事務所の継続が出来ないシステムになりました。時代について行くのが大変な時代になりました。

次に家族についてお話し致します。

子供は2人おり、上が息子、下が娘です。息子は佐々木源悦会員の息子さんと同級生で、古川学園PTAその他進学、勉強等で大変お世話になりました。現在は、秋田の先輩の医療法人に勤めており、3ヶ所ある歯科医院を曜日ごとに回って働いております。

娘は、千葉正宏会員、佐藤敬喜会員、布施孝尚会員のお子様と同級生で、千葉正宏会員には佐沼高校PTA会長の時、大変お世話になりました。現在、東京足立区の信用金庫に勤めており、国債、定期、融資など外回りをしております。

「住宅ストック循環支援事業の実施について」の資料を配布いたしましたので、ご覧になって下さい。

— 以下、紙面の都合上割愛させていただきます。